

トキワ荘と一緒に？ 夢と金欠と同じ釜の飯。



締め切りピンチな時は、一旦、自分の原稿を止めて、仲間の原稿をみんなが徹夜で手伝っていたそうです。

ゴミではありません。赤塚先生が原稿を投げたものイメージ。触れません。動かさません…。

せまい…けど、でも自分たちの寮部屋より広いんちゃう？

トキワ荘の赤塚不二夫先生の当時の部屋を再現したもの。入室禁止ですが交渉し、特別に上げていただきました。

赤塚不二夫会館にて

本当は、入室禁止



↑昭和のレトロな町、東京都青梅市

↓青梅駅からすぐの住吉神社。新聞アウトプットをする場所を求め神社へ。社務所に挨拶へ行くと、勉強熱心な学生たちに感激された宮司さんが出てこれ、本殿の中まで案内を。歴史深い数々の宝物を拝見させていただきました。

「青梅」へ歴史現地講座。全部アポ無し講義の結末。

【前編です】直前まで何をするか分からず、東京都多摩地域西部の青梅市に2期生たちは集められた。紺のスーツ姿の学生がぞろぞろ集まり、町行く人々に「今日、何かあるんですかね？」と10回くらい聞かれる。青梅はレトロな昭和のムードで町が彩られていた。向かった先は漫画家で有名な赤塚不二夫会館とB29が墜落した場所へ。山近理事長代行の水先案内に1日身をゆだねた。午前中は、ペンひとつでモノを創り出す、漫画家たちのエネルギーを感じた。(つづく)



↑天才バカボンの像



ここに注目！



地元・青梅市の企業、日昭工業の久保副社長がゲスト参加。青梅を案内していただきました赤塚不二夫会館は初めとのこと。トムクルーズに似ています。

↑山近義幸理事長が、ひょっこり登場…。「トキワ荘では若手漫画家が全国から集まって下宿。お金は無いけど夢は大きく、みんなで暮らしていた。どこか日本ベンチャー大学の寮に似ていませんか？そんなエネルギーを感じてほしい」と入館前に力説。しかし…、短パン姿で…。そんなんアリですか？